

訂 正

『「電気加熱原子吸光光度計を用いた作業環境の空气中インジウム分析」について』への返答

Response to comment on the study titled “Analysis of indium in indoor air in the workplace by electrothermal atomic absorption spectrometry”

永滝 陽子, 中野 真規子, 大前 和幸, 武林 亨

慶應義塾大学医学部衛生学公衆衛生学教室

Yoko EITAKI, Makiko NAKANO, Kazuyuki OMAE and Toru TAKEBAYASHI

Department of Preventive Medicine and Public Health, Keio University School of Medicine

(産衛誌 2022; 64(2): 114)

doi: 10.1539/sangyoeisei.2021-047-L

我々の短報¹⁾の、2種類の空气中インジウム濃度測定法の関連を示した回帰直線の傾きについて、図3と本文中の記述に齟齬があるとの原田先生のご指摘²⁾に、心より感謝申し上げます

ご指摘を踏まえて確認しましたところ、本文中の回帰直線の傾きの記載に誤りがあり、正しい回帰式は $y = 1.008x$ でした。なお、図3および相関係数には誤りはありませんでした。投稿の際の確認が不十分であったことを深くお詫び申し上げ、以下のとおり訂正いたします。

産業衛生学雑誌63巻1号

電気加熱原子吸光光度計を用いた作業環境の空气中インジウム分析

2021年12月1日受付；2021年12月3日受理
J-STAGE 早期公開日：2021年12月18日

連絡先：永滝陽子 〒160-8582 東京都新宿区信濃町35
慶應義塾大学医学部衛生学公衆衛生学教室

Correspondence to: Yoko Eitaki, Department of Preventive Medicine and Public Health, Keio University School of Medicine, 35 Shinanomachi, Shinjyuku-ku, Tokyo 160-8582, Japan
(e-mail: eitaki@keio.jp)

3. 結 果 4 頁右段 3 行目

誤： $y = 0.966x$ (相関係数 $r = 0.974$) となった (図3)。

正： $y = 1.008x$ (相関係数 $r = 0.974$) となった (図3)。

4. 考 察 5 頁右段11行目

誤： $y = 0.966x$ (x , ICP-MS 測定値； y , ETAAS 測定値；相関係数, $r = 0.974$)

正： $y = 1.008x$ (x , ICP-MS 測定値； y , ETAAS 測定値；相関係数, $r = 0.974$)

利益相反自己申告：申告すべきものなし

文 献

- 1) 永滝陽子, 中野真規子, 大前和幸, ほか. 電気加熱原子吸光光度計を用いた作業環境の空气中インジウム分析. 産業衛生学雑誌 2021;63:1-5.
- 2) 原田浩二. 「電気加熱原子吸光光度計を用いた作業環境の空气中インジウム分析」について. 産業衛生学雑誌2021; 63: 323.